

資料番号	4
------	---

令和5年9月28日
課名 地域政策局国際課
担当者 課長 大小田（おおこだ）
内線 2358

第8回ひろしまジュニア国際フォーラムの開催結果について

1 要旨・目的

国内外の高校生等が国際平和についての討議や交流等を行い、平和のメッセージを世界に発信することを通じて、次の世代の人材育成を行うことを目的とした「第8回ひろしまジュニア国際フォーラム」を以下のとおり開催した。

今回は、日本を含む24か国の高校生が討議・交流等を行い、とりまとめた広島宣言を発表、知事に手交した。

2 現状・背景

平成28年度に第1回を開催し、今回は8回目の開催。

3 概要

- (1) 実施主体 広島県
- (2) 実施期間 令和5年8月15日（火）～18日（金）の4日間
- (3) 場 所 広島国際会議場等
- (4) 実施内容
 - ア テーマ 平和な世界の実現に向け私たちができること
（核兵器廃絶と復興・平和構築に向けた取組）
 - イ 参加者 高校生 85名
○日本人高校生 46名（県外高校生10名を含む。）
○外国人高校生 39名（23か国）

[外国人高校生の招へい国] (五十音順)

区分	国名	人数
海外から参加	アルメニア、インド、インドネシア、ウズベキスタン、韓国、カンボジア(2)、タイ、 <u>中国</u> 、フィリピン(2)、 <u>米国</u> 、マレーシア、 <u>メキシコ</u> 、モルディブ	15名
国内から参加 (留学生等)	アルゼンチン(4)、ウクライナ(2)、オーストラリア、コスタリカ(2)、スロバキア、タイ(3)、チリ、ドイツ、フィンランド、フランス、米国(5)、ポーランド、メキシコ	24名

※ 海外から参加する中国、米国、メキシコの参加者（下線の国）は、本県の友好提携先である四川省、ハワイ州、グアナファト州からの招へい者

ウ スケジュール

日時	行事内容
8月15日（火）	オリエンテーション、平和記念資料館見学、慰霊碑参拝、被爆体験証言聴講、チームビルディング、講義・グループディスカッション
8月16日（水）	基調講演、講義・グループディスカッション、広島宣言の作成
8月17日（木）	宮島訪問、広島宣言の作成
8月18日（金）	報告会準備、報告会（広島宣言の発表等）

※ G7広島サミット的首脳訪問先（平和記念資料館、宮島）や参加行事（慰霊碑参拝、被爆体験証言聴講）を含む日程とした。

(5) 広島宣言の内容等

広島宣言の内容は別紙仮訳のとおり。なお、同宣言は、国連や外務省等の国際関係機関等へ送付するとともに、県のSNS・ホームページ等で情報発信する。

(6) 予算（単県）

15,429千円

4 関連情報

<https://hiroshimaforpeace.com/hjif2023/hjif-declaration2023/>

(ひろしまジュニア国際フォーラム開催の様子)



平和記念資料館見学



被爆体験証言聴講



チームビルディング



ディスカッション



グループ発表



広島宣言の作成作業



知事に広島宣言を手交



宮島訪問

ひろしまジュニア国際フォーラム 2023 広島宣言（仮訳）

前文

私たち、24 か国からの参加者 85 名は、2023 年 8 月 15 日から 18 日で開催された第 8 回ひろしまジュニア国際フォーラムのために広島に集いました。5 月に開催された G 7 広島サミットを受けて、核兵器廃絶と平和構築についてさらに議論が深まりました。

私たちは共通の目的を持って団結しました。その目的とは、すべての個人の尊厳と権利が尊重され、違いが受け入れられ、知識と理解の追求が境界を越える世界を育むことです。私たちは歴史の厳粛な教訓に導かれ、成長と希望の象徴としての広島の回復力に触発されています。このプラットフォームは、地域、文化、イデオロギーの境界を乗り越える若者の精神の強さを浮き彫りにします。私たちは、地球規模の重要な課題について考え、議論する中で、地球の将来に積極的に貢献するというコミットメントを再確認したいと考えています。私たちの団結は、私たちの声を強化し、確固たるものにし、世界の国々の代表者がいることは大きなメリットです。

このような重要な事項について議論や意見交換の機会を提供していただいた広島県に心から感謝します。私たちは、このようなイベントの重要性を強調したいと思います。これは、私たちが誇りに思える世界を目指す過程において極めて重要です。

核兵器廃絶に向けた課題と解決策

我々は、核抑止と核拡散が核兵器廃絶への課題であると認識しています。極端なナショナリズムは国家間の不信を引き起こす触媒であり、国家間に安全保障上のジレンマを引き起こす可能性があります。極端なナショナリズムを緩和するために、私たちは世界中の人々がお互いを尊重し、地球規模でつながるよう努めることを提案します。そのためには、まず、ひろしまジュニア国際フォーラムのような国際平和イベントを活用して相互理解を深めていくことを提案します。このように協力することで、私たちは他の人々と会合し、これらのフォーラムで得られた知識を活用して核兵器廃絶という目標達成を支援できる解決策を生み出すために取り組むことができます。次に、姉妹都市と姉妹校の数を増やすことを提案します。そうすることで、私たちは人々を団結させ、積極的なグローバルな関係を築くことができ、ひいては他者に対する偏見や先入観を軽減することができます。このようにして、お互いを「敵」ではなく人間として知ること、私たちは国家間の信頼を高めることができます。こうして、この信頼が相互に核兵器を使用する危険性を減らす環境を作り出すのです。このことは、核兵器が人々に及ぼす影響についての相互理解によって、実現されるでしょう。

私たちは、核兵器廃絶に向けた検証の重要性を認識しています。これに関連して、核兵器禁止条約（TPNW）が有効な手段となるためには、核兵器が存在しないことを検証し確認できなければなりません。これを行うには、各国が相互に責任を負うことができる取り決めが必要です。したがって、我々は、核兵器の専門知識を持つ専門の大使が相互かつ定期的に監査し、核兵器の不存在を確実にする業務に従事するメカニズムを提案します。このメカニズムでは、各国がペアになって取り組む必要があります。各国にはパートナーがおり、ある国の大使が相手国の大使と連絡を取り合い、核兵器の非存在を相互に確認することができます。ただし、核兵器を秘密裏に保有するリスクを軽減するため、ペアは所定の期間後に変更されることがあります。このシステムには、各国が国家安全保障の領域で脅威を感じたり、不利益を被ったりしないようにするための妥協点を提供できるという付加的な利点もあります。

核兵器廃絶に向けた若い世代の役割

行動を起こす

私たち若い世代は、異文化理解を促進し、核兵器廃絶に向けた文化的教養を豊かにしていきます。日本政府が主催する広島でのフォーラム、さらには国連が主催する公式会合など、現在の取り組みに積極的に参加することで、私たち若者は変化を起こすことを志すことができます。様々な視点を持つ人々と交流することで、グローバルなコミュニティを構築することができます。そのような取り組みの一つは、世界平和のために核兵器を廃絶することです。

メッセージを広める

私たち若い世代は、核兵器がいかに恐ろしいものであるかを世界に知らせるためのメッセージを広めるだけでなく、爆弾による大規模な破壊についての批判的思考に向けて協力することにも取り組んでいきます。原爆投下が広島に与えた影響を、建築物や自然に焦点を当てながら視覚化できれば、人々は見たものを鮮明に頭の中に思い描き、永遠に記憶することができるでしょう。「マンガ」やその他の形式の視覚メディアを使用して、これらのメッセージを広めることも、広島で起こったことを広めるためのもう1つの選択肢です。マンガは世界的に人気があるため、紙だけでなくウェブやアニメ、映画などのメディアでも効果的に核兵器の恐ろしさを伝えることができます。日本だけでなく世界の核兵器による被害情報を掲載し、核兵器や核実験の被害者となったすべての人々のメッセージを伝えます。その結果、核兵器の使用を正当化する理由は減少するでしょう。

さらに、私たち若い世代はソーシャルメディアを積極的に利用します。私たちの強みを活用することで、ソーシャルメディアを通じて被爆者の物語を様々な言語で共有することができます。また、聴き手向けに質問箱を設け、聴き手に示唆に富んだ質問をしてもらうことで、核兵器の使用によってもたらされる破壊と恐怖の物語に対するより深い理解や関心を促進することができます。

核兵器廃絶に向けた広島の役割

言語

私たちは、広島が世界中の人々にとってより身近になることを期待しています。私たちは、現在の言葉の壁により、あの運命の日の悲劇について広島が人々に効果的に伝える能力が制限されていると考えています。例えば、小倉桂子さんは、広島で英語を話す数少ない被爆者の一人として知られています。それだけでも憂慮すべきことです。広島は住民の英語リテラシーを高めるべきです。広島の最終目標は、世界的に有名な活動的国際都市になることです。英語だけでなく他の主要言語も引き続き市内で広く積極的に使用され、促進されるべきです。これは世界的な核戦争反対の主張につながるでしょう。

メディアとテクノロジー

私たちは、広島が最新のコミュニケーションツールとテクノロジーを活用して、人々の感情に訴え、広島で起こったことが歴史書以上のものとなることを期待しています。より多くの人々が核兵器廃絶を主張できるよう、魅力的なウェブサイトを構築することが重要です。広島は、優れたオンラインプラットフォームとともに、より没入型体験を生み出すテクノロジーを導入する必要があります。たとえば、大量破壊を示すための原爆投下前後の街のVRシミュレーション。さらに、広島は同じ技術を使って、今日のより進歩した核兵器の危険性と核兵器の使用を阻止する緊急性を示すことができます。

協働

メディアの利用に加えて、国内外の組織との連携を活用して、より幅広い聴衆に影響を及ぼすことができます。これには、核兵器の危険性についての知識を広めることができる学校や NGO が含まれます。学校に対して、広島は代表者を派遣し、オンラインイベントを主催し、生徒たちに核戦争について学び、行動を起こすよう働きかけることができます。さらに、広島県が主催する「ひろしまジュニア国際フォーラム」のようなイベントは、被爆者の話を様々な言語に翻訳するのに役立つ若いリーダーを募集する起点として利用できます。私たちは、広島が核兵器廃絶を広めるために可能な限りあらゆる機会を利用し、提供することを期待します。

より平和な世界の実現に向けた課題と解決策

不平等

私たちは、ジェンダー、人種、民族、性的指向、宗教、障害、富、収入格差及び人々間の紛争につながる可能性のあるその他の要因に基づいた不平等が日常的に存在していることを認識しています。この課題に対処するために、私たちは政府に対し、意思決定プロセスにおいて少数派にも平等に代表を確保し、社会経済的格差に対処することを奨励します。また、様々な背景を持つ人々の交流も促進していきます。例えば、国や自治体の行政機関、若者、ビジネス関係者などが参加し、課題を議論し、相互理解を促進するフォーラムなどのイベントを開催します。

自己中心的な視点

一部の国家は自己中心的で、自分たちの利益のみに焦点を当てています。これは、相互に望ましい利益を妨げ、人権状況を悪化させ、資源不足をより深刻にする可能性があります。その結果、気候危機などの地球規模の問題の解決がさらに困難になります。このため、私たちは国益よりも集団の幸福を優先するために、世界的な協力と資源の共有というアプローチを提案します。私たちはまた、より広範な市民社会が地域の声を高め、対立する意見を橋渡しすることを奨励します。

国内問題のみを気にする人々は視野が狭い可能性があるため、自己中心的な国家指導者の国家主義的な主張に動かされて紛争に巻き込まれる可能性があります。解決策としては、人々が地球規模の問題についてもっと学べるように教育を改善する必要があり、人々の多様性を強調する包括的でオープンマインドな教育を支援する必要があります。このようなコースを実現するために、国家や地方自治体は学生に海外留学を奨励するための機会をさらに提供すべきです。

平和な地域社会を築くための若い世代の役割

人々は平和的な行動だけでなく、暴力的な紛争にも動員されることがあります。したがって、若者を含む私たち全員が、将来見たい世界へと変えていく存在となるべきです。

政治への参加：私たち若い世代は、あらゆるレベルで積極的に政治に参加することに熱心でなければなりません。私たちは政府とその政策、そしてどのように国を運営しているかを注意深く監視していきます。私たちは投票権を行使する機会を決して逃しません。これにより、若者の国際政治への参加意識が促進されます。

伝統的な背景での教育の促進：私たち今日の若者は、少数派、貧しい人々、遠隔地の人々を含む私たち全員に普遍的な教育を提供するよう政府に求めます。その目的を達成する手段として、私たちは誰もが教育を受けられるようにする衛星テレビと太陽光発電の電話を提案します。また、私たちは

国連に対して、同じ水準の普遍的な教育を推進するために各機関に権限を与えるよう要請します。そのプロセスを通じて、私たちはより良い平和な世界につながる考え方を実現するよう努めます。

私たちは現在の情報技術の長所と短所を認識しています。私たちはソーシャルメディアに関するスキルと知識を活用して、このフォーラムを通じて学んだことを広めていきます。しかし同時に、私たちはこれらのテクノロジーの背後にある、文化的暴力につながる可能性のある偽情報や誤った情報などのリスクも認識しています。私たちは、他人に誤解を与えたりしないように、メディアリテラシーと能力を高めます。

平和構築を促進する広島役割

平和都市

私たちは、広島が国際平和の拠点となり、平和構築と復興、そして戦争の破壊的な側面を強調するとともに、国際問題に焦点を当てることを期待しています。私たちは広島が、より多くの会議を主催し、世界の平和に焦点を当てた非営利団体と協力して、世界規模で平和のメッセージを広め続けることによって、これを実現することを期待しています。私たちは、広島が平和の理想を推進し続けるとともに、言論の自由や人々の声が政治に反映される制度等を推進し続けることを期待します。さらに、広島は地方、国家、世界レベルで平和構築のための教育を継続すべきです。広島はまた、世界情勢を改善し、世界中でSDGsの達成に向けて取り組むために、変化を生み出し、平和と復興プロジェクトを実現するために世界のリーダーたちと協力し続ける必要があります。

イニシアティブ

私たちは広島が、破壊から復興した自らの経験を率先して共有し、平和を求める国際的な願いを育むことを期待しています。私たちは、広島がソーシャルメディア、テレビ、その他の伝統的なメディア（芸術、音楽、短編映画、物語、新聞を含む。）を通じて、世界平和と核兵器の話題を提供し、報道を奨励することを望んでいます。さらに広島は、仮想ライブラリやポッドキャストを追加して現在のオンラインリソースをアップグレードし、情報の提供を補う必要があります。広島はまた、学生交流などの国際教育活動に積極的に参加し、世界の平和教育の向上に努めるべきです。

結語

広島を見ると、不死鳥のような物語が見えてきます。広島が原爆によって破壊されたとき、それは単に都市の終わりではありませんでした。代わりに、広島はこれまで以上に活気のある状態で戻ってきました。広島は灰の中に埋もれるのではなく、灰から成長しました。この再生と忍耐の物語は、私たちが悪の中に善を見だし、絶望から美しさを生み出すことができることを示しています。

ひろしまジュニア国際フォーラムに参加できて光栄でした。それは知識の共有と協働の素晴らしい過程でした。私たちは多様な背景、文化、視点を持っているかもしれませんが、まさにこの多様性こそが私たちの会話を豊かにし、地球規模の問題に対する革新的な解決策を見つけることを可能にしました。私たちは今、私たちの使命がこのフォーラムをはるかに超えたものであることを理解しています。今日の若者として、私たちは将来の世界を担う大きな責任があることを認識しています。私たちの多くはすでに世界の不正義や平和への障害を経験しており、たとえ完璧は不可能であっても、これらの問題を解決して世界を改善するために必要な意欲を持っています。

広島宣言の完成は、私たちが自分自身と私たちの仲間のために構築しなければならない非常に長い道のりの始まりにすぎません。それは私たちから始まり、今から始めるつもりです。私たち次世代は、世界政治の脆弱性を注意深く受け止めています。私たちは国際的な友情を築き、敬意、共感、平等を持ってお互いを扱い、私たち全員にとってこの世界をより良くするために協力し始めるつもりです。私たちは、母国とその地域社会の内外で解決策を探し始めるつもりです。私たちは、私たち自身の命と同じように美しい人間の命を守ることを提唱する旅を始めることを誓います。

2023年8月18日